(第1面)

産業廃棄物処理計画書	

令和 7 年 6月13日

佐賀県知事 殿

提出者

住 所 佐賀県鳥栖市立石町2066番地の2

氏 名 株式会社 栗山建設

代表取締役 栗山清規

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0942-83-1678

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	0	り	名	称	株式会社 栗山建設
事	業	場	の	所	在	地	佐賀県鳥栖市立石町2066番地の2
計		画		期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	事業	場に	おい	いて	現に征	行っ	ている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	D06 総合工事業
	2	事	業	の	規	模	1,900,000千円
	3	従	業	皂	員	数	40人
	4 B	産業力 処	廃 乗	乗物の	の一 ) エ	* 連程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業	廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
	別紙のとおり			
産業	  廃棄物の排出の抑制に	関する事項		
		【前年度(令和 6 4	丰度)実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
		排出量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		(これまでに実施した取組		L .
	①現状			
		特になし		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	 別紙のとおり
		排出量	別紙のとおり	別紙のとおり
			ι	t
	②計画	(今後実施する予定の取組	L)	
		特になし		
		1110-20		
産業	- 廃棄物の分別に関する	事項		
		(分別している産業廃棄物	の種類及び分別に関する	<b></b>
	①現状	特になし		
		(今後分別する予定の産業	廃棄物の種類及び分別に	関する取組)
	②計画	  特になし		

	【前年度(令和 6 年)	度)実績】	
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	特になし	特になし
①現状	(これまでに実施した取組)	t	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	特になし t	特になし
②計画	(今後実施する予定の取組)		
	, 1 BB / p em) = BB ), et et et		
行う産業廃棄物⊄ 	中間処理に関する事項	<b>帝</b> 〉 安 <b>孝</b> 【	
行う産業廃棄物 <i>の</i>	【前年度(令和 6 年	度)実績】	ltt.1フナン1
行う産業廃棄物の	【前年度(令和 6 年) 産業廃棄物の種類	特になし	特になし
行う産業廃棄物の	【前年度(令和 6 年) 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		特になし 特になし
	【前年度(令和 6 年) 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った	特になし	
①現状	【前年度(令和 6 年, 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した	特になし <b>特になし</b> <b>**</b> <b>**</b>	特になし
	【前年度(令和 6 年, 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	特になし <b>特になし</b> <b>**</b> <b>**</b>	特になし
	【前年度(令和 6 年, 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	特になし <b>特になし</b> <b>**</b> <b>**</b>	特になし
	【前年度(令和 6 年) 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし	特になし <b>特になし</b> <b>**</b> <b>**</b>	特になし
	【前年度(令和 6 年, 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし	特になし 特になし t 特になし t	特になし
	【前年度(令和 6 年) 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし 【目標】 産業廃棄物の種類	特になし <b>特になし</b> <b>**</b> <b>**</b>	特になし
	【前年度(令和 6 年, 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	特になし 特になし t 特になし t	特になし
	【前年度(令和 6 年) 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	特になし 特になし 特になし 特になし 特になし	特になし 特になし 特になし
①現状	【前年度(令和 6 年, 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特になし 【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する	特になし t 特になし t 特になし t 特になし t 特になし t 特になし	特になし 特になし 特になし 特になし

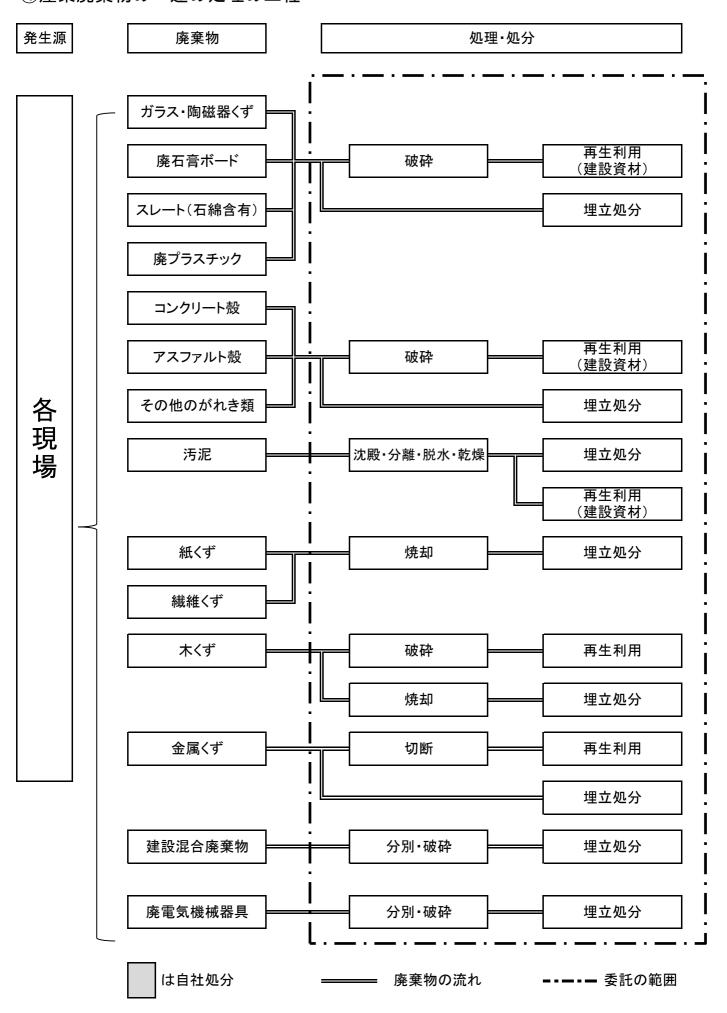
自ら行う産業廃棄物の	の埋立処分又は海洋投入処分に関する	5事項											
	【前年度(令和 6 年	度)実績】											
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし										
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	特になし t	特になし t										
少先扒	(これまでに実施した取組)	(これまでに実施した取組)											
	特になし												
	【目標】												
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし										
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	特になし t	特になし t										
産業廃棄物の処理の		度)実績】											
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり										
	全処理委託量												
	優良認定処理業者への 処理委託量	t											
	再生利用業者への 処理委託量	4	4										
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t										
①現状	認定熱回収業者以外の	t	t										
	熱回収を行う業者への 処理委託量	,											
	<u>□□ た母女に単</u> (これまでに実施した取組)	t	t										
	産業廃棄物を処理できる業績	<b>皆と書面による契約を行</b>	っている。										

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
		全処理委託量		
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
	②計画	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	<b>少</b> 日 回	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t.	t
		(今後実施する予定の取組) 可能な限り優良認定処理業績		
※事	務処理欄			

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
  - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
  - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。

# ④産業廃棄物の一連の処理の工程



# 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統	括	責	任	者	所 属	株式	会社 乳	 栗山建設		<b>修取締役</b>				
					組織名					193 10 4 1 1 1 19	<u>~</u>			
廃	棄	物	担	当	組織人数									
					〇 廃棄	勿処理	に関す	 る検討						
					廃棄!	物の再	生利用	、中間処	理、遃	正処理	の推進	、計画的な廃す	棄物の	
	現場	環境	管理員	会	管理:	軍営を	行う上で	で必要な	事項を	検討す	る。			
					•委員	長-[	関連部	署部課長						
<b>45</b>	ᇁᇸ	<b>⊬</b>	5 H/m /h11	тш	〇 廃棄	勿処理	方針の	策定						
役			₹物処 〔任者		〇 廃棄	物処理	に関す	る各事項	の決り	定、承認				
割					〇 廃棄	物処理	計画の	作成						
								把握と改	善の権	<b>倹討</b>				
	序	<b>養</b> 棄物	]管理	<u> </u>	〇 委託									
		担当			〇 監督'									
					〇社員									
					○ そのf	也関係	する争・	<b></b>						
							産	業 廃 棄	物貿	雪理 組	織			
								専務取締	役(廃	棄物担	当役員	)		
		1 55 6	- TO +n	,	Ť				7±.	r¢ +n		// √/ √/ ±π		224 AR 4-10
	. — -	百算 官 ———	理部	s - <u> </u>		工	木部		建	築部		総務部		営業部
	廃勇	€物担	当部	長										
					I									

### **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄	物の排出の抑制に関す	る事項														
	【前年度(令和 6	年度) 実績】														
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃棄 物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	廃電気機械器 具			
	排出量	1990.050 t	2367.500 t	238.360 t	15.060 t	71.860 t	35.900 t	3.900 t	17.880 t	0.400 t	1.070 t	5.560 t	0.040 t			
	【目標】	•	·		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	
②計画	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃棄 物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	廃電気機械器 具			
	排出量	1900.000 t	2300.000 t	200.000 t	15.000 t	70.000 t	30.000 t	3.000 t	17.000 t	0.300 t	1.000 t	5.000 t	0.030 t			

### (第3面)

(別) (別)															
自ら行う	産業廃棄物の再生利用	に関する事項	Ī												
	【前年度(令和 6	年度) 実績】													
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃 棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	廃電気機械器 具		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		
	【目標】														
②計画	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃 棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	廃電気機械器 具		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		
自ら行う	産業廃棄物の中間処理	に関する事項	Ī												
	【前年度(令和 6	年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	廃電気機械器 具		
①現状	自ら熱回収を行った産 業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		
	【目標】				•					•	•				
	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃 棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	廃電気機械器 具		
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t		

### **様式第二号の八**(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

•																
自ら行う層	産業廃棄物の埋立処分	又は海洋投入	処分に関する	事項												
	【前年度(令和 6	年度)実績】														
①現状	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボート	. 廃電気機械器 具			
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			
	[目標]	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t			
		アスファルト	コンクリート				\	( ) 10	建設混合廃		ガラスくず、コンク	I	. 廃電気機械器	I		I
②計画	産業廃棄物の種類	殻	殼	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	具			
(A) H	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t			
産業廃棄物	かの処理の委託に関す.	る事項												•		•
	【前年度(令和 6	年度)実績】	1													
			コンクリート				I	Ī	建設混合廃	Ī	ガラスくず. コンク		. 廃電気機械器	ı	Ī	I
	産業廃棄物の種類	カヘノテルト	カングット	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボート	具			
	全処理委託量	1990.050 t	2367.500 t	238.360 t	15.060 t	71.860 t	35.900 t	3.900 t	17.880 t	0.400 t	1.070 t	5.560 t	0.040 t			
	優良認定処理業者への															
①現状	処理委託量 再生利用業者への	t	120.000 t	t	t	0.010 t	24.500 t	t	t	t	t	t	t t			
	処理委託量	1990.050 t	2367.500 t	238.360 t	15.060 t	71.860 t	35.900 t	3.900 t	17.880 t	0.400 t	1.070 t	5.560 t	0.040 t			
	認定熱回収業者への															
	処理委託量 翌度禁忌原業者以 (4) (5)	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への															
	処理委託量	t	+	t	+	t	+	t	+	+	+					
	【目標】													I		I
	産業廃棄物の種類	アスファルト 殻	コンクリート 殻	木くず	がれき類	廃プラ	汚泥	紙くず	建設混合廃棄物	繊維くず	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	廃石膏ボード	, 廃電気機械器 具			
	全処理委託量	1900.000 t	2300.000 t	200.000 t	15.000 t	70.000 t	30.000 t	3.000 t	17.000 t	0.300 t	1.000 t	5.000 t	0.030 t			
	優良認定処理業者への	1300.000 t	2300.000 t	200.000 t	13.000 τ	70.000 t	30.000 t	3.000 t	17.000 €	0.300 τ	1.000 t	3.000	0.000 t			
②計画	処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t			
少日四	再生利用業者への 処理委託量	1900.000 t	2300.000 t	200.000 t	15.000 t	70.000 t	30.000 t	3.000 t	17.000 t	0.300 t	1.000 t	5.000 t	0.030 t			
	認定熱回収業者への	1900.000 t	2300.000 t	200.000 t	15.000 t	70.000 t	30.000 t	3.000 t	17.000 t	0.300 t	1.000 t	5.000 t	. 0.030 t			
	処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への															
	処理委託量	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				
1 1				·	L L						٠	'	٠, .	ı		l